

粘土のおうち、 コブハウスをつくろう！

子どもといっしょに家が建てられるって？
しかも、材料は石や粘土などの天然素材で、お金もかからない？

栃木・茂木町 自主保育サークル「やっほう」 写真・文 大浦佳代



コブハウス



みどりのやね

あかりとりのガラス(びん)

貝殻やサンゴを貼ると
かあいいかも

まど

赤いタイルで「やっほうマーチ」

中には、みんなの手形

粘土あそびをしながらおうちがつくれる！ そんな夢のような「コブハウス」の話聞いた栃木県茂木町の自主保育サークル「やっほう」の母ちゃんたち。ノリノリなパワーで「いつちよやったる！」ここに。

コブ(cob)は英語で塊の意味。粘土と砂とワラを混ぜたもので、土壁や日干し煉瓦と同じ素材だ。夏は涼しく、冬は暖か。泥のコブを積み上げてつくるので、長方形にかぎらず、自由な形をデザインできる。基礎に石を使って屋根をかければ、雨にも強い。「やっほう」で使うあそび場の秘密基地にはサイコード！

さつそく、材料集めにとりかかる。「道路工事の山に粘土層がでてくるって」「くずれた塀の大谷石、もらえるかな」「入口用の型枠に漬け物樽はどうか？」と、口コミを頼りに母ちゃんたちのネットワークとフットワークをフル活用。手づくり感たっぷり、粘土のおうちづくりがはじまった。

コブハウス づくりの手順

1 下地づくり
壁が建つ位置に深さ20cmの穴を掘り、砕石をしいて踏み固める



2 基礎づくり
石を積みながら、モルタルで固める



3 コブづくり
粘土と砂、ざく切りにしたワラを加えて、足で踏みながらこねる

教えてくれた人



うめ崎やすし
梅崎靖志さん

風と土の自然学校代表。山梨県都留市を拠点に、パーマカルチャーを基本とした循環型の暮らしを実践する。年間講座「自然農と手づくり循環生活実践コース」などを開催するほか、安曇野パーマカルチャー塾を仲間と運営している。愛称：うめちゃん

今回のスケジュール

8月28日	8月25日	8月22日	8月20日	8月18日	8月16日	8月15日	8月10日	7月31日	7月20日	7月中旬
第7回作業。コブ積みやと完了!! うめちゃんといっしょに屋根づくり	第6回作業。今度は粘土が乾いて固くなり 大苦戦	第5回作業。「軽トラ踏み踏み作戦」発明 で作業ラクちゃん!	コブもゆるゆる	第4回作業。雨で粘土がゆるゆる、 屋根の材料集めスタート	うめちゃんといっしょにコブを積みはじめる	第3回作業。土台の石積み完了!	打ち合わせ、翌日の準備	第2回作業。うめちゃんが現地に	第1回作業。下地の砕石打ち	作戦会議。デザインや大きさを決める
材料と道具、ほぼ集まる	基礎とコブの材料と道具集めスタート	基礎とコブの材料と道具集めスタート	基礎とコブの材料と道具集めスタート	基礎とコブの材料と道具集めスタート	基礎とコブの材料と道具集めスタート	基礎とコブの材料と道具集めスタート	基礎とコブの材料と道具集めスタート	基礎とコブの材料と道具集めスタート	基礎とコブの材料と道具集めスタート	基礎とコブの材料と道具集めスタート

これが
コブだ!

4 壁づくり
長さ20cm、幅10cmくらいのコブ(塊)をつくり、基礎の上に積んでいく。入口や窓に木枠をいれたり、ガラス瓶を入れてかっこよくする



5 屋根づくり
土の壁に梁をかけ、垂木をわたして板をはる。防水シートをはって、屋根に花壇もつくる!

